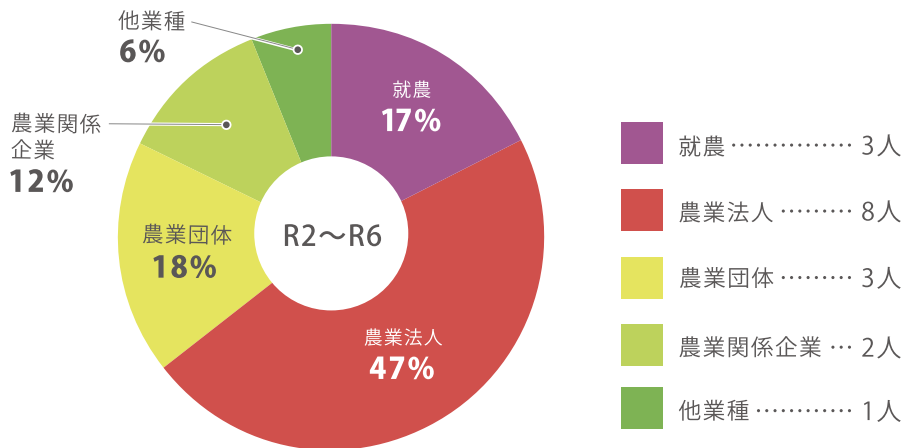


進路状況

Future Course

● 卒業生進路状況 (過去5年間R2～R6)



年度	就農	農業法人	農業団体	農業関係企業	他業種	計
R6		1		1		2
R5	1	1		1	1	4
R4	1	3	1			5
R3	1	2				3
R2		1	2			3
専攻科計	3	8	3	2	1	17

進路先一覧

- **就農** / 自営就農 (3)
- **農業法人** / 株式会社齋庵 株式会社 k i s v i n サントリー株式会社
サントリーワインインターナショナル株式会社 志村葡萄研究所 ドリームファーム
丸藤葡萄酒工業株式会社 マンズワイン株式会社
- **農業団体** / JA全農やまなし JAフルーツ山梨 JA梨北
- **農業関連企業** / 株式会社アセラ 三好アグリテック株式会社
- **他業種** / 山梨県警察



専攻科に学んで

令和5年度 専攻科
落葉果樹学科卒業
就農

山下 龍樹さん



専攻科では、農大や山梨県果樹試験場でブドウやモモなどの専門的な栽培知識や技術を学びました。また、マーケティングやビジネスプランの作成にも取り組み、農業経営についても学びました。さらに、様々な授業で、農産物の生産から加工、流通、販売までの一連の流れを理解しました。私は、農業にやりがいを感じています。学校での実習や研修で、農産物を収穫するまでには様々な苦労があることを知りました。しかし、作物に真剣に向き合い、苦労を乗り越えて収穫した時の喜びや、消費者の笑顔を見ることで、農業の魅力を感じました。

卒業後は、ブドウ農家になります。そのためには、非農家である私は、地域の方や指導機関のご指導とご協力を得ながら、農地の確保、経営や栽培について準備を進めたいと考えています。

また、これまで学校生活の中でお世話になった研修受入農家や果樹試験場の皆様から、学んだことを活かして美味しいブドウづくりを行いたいと思います。

私は学校の収穫祭で丹精込めて作った果物を家族が美味しいと言って食べてくれた時は、とても嬉しかったです。食糧を生産できなければ、私たちが生きていけないと思います。農業は生命を支える職業であり、人類にとって一番大事な産業だと考えています。私が農業に従事することで、家族、さらには生まれ育った地域の生命を支えたいと思います。

令和4年度 専攻科
落葉果樹学科卒業
**全国農業協同組合連合会
山梨県本部 就職**

三井 陶冶さん



専攻科では、養成科の時に学んだ栽培技術を生かしながら果樹試験場では先端技術実習や農業法人等での派遣研修でさらなる農業技術の習得を目指し、養成科ではあまり勉強しなかったマーケティングやビジネスプランなどの農業経営に関する講義も専門の講師から受けることができ、農業分野について深く学ぶことができました。

特に、ビジネスプランの授業の一環で農産物加工を手掛ける模擬会社を設立しており、学生のみで仕入れから商品の計画、会社の運営、加工、販売までの流れを実際に行い学ぶことができます。今年からはブランド化を目標に会社の運営を行っており、SDGsやフードロス問題についても取り組み始めました。

このように専攻科では、自分たちで計画を立て、それを実行し改善点を見つけ次につなげるような授業が多くなるため、自分で考えて行動する力をつけることができました。

卒業後は、全国農業協同組合連合会山梨県本部に就職する予定です。今後は指導を受ける立場ではなく、指導する立場になるため不安はありますが、山梨県の農業を更に盛り上げ、より良いものにしていくように農林大学校で学んだことを生かしながら努力していきたいと思っています。